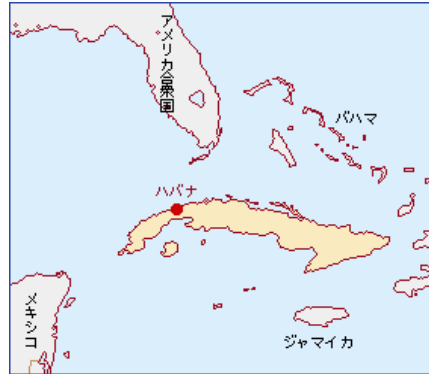


国名(日本語)	キューバ共和国
国名(英語)	Republic of Cuba



国名の由来	国土を構成する主島キューバ島に由来する。キューバは英語読みで自称はクバ。一般的にはインディオの言葉で「中心地」の意味といわれる。15世紀末、コロンブスが最初の航海で来航し、16世紀にスペイン領となった。1898年、キューバ人の独立闘争に端を発して、アメリカとスペインの間で戦争が勃発し、敗れたスペインはキューバの支配権を放棄した。1902年、キューバはアメリカの保護下で独立したが、59年の革命により中南米初の社会主義国となった。
国旗の由来	社会主義国だが、国旗は1902年の独立時のもので、独立を支援してくれたアメリカ合衆国の国旗を手本としている。3本の青のストライプは独立時の3州を、2本の白のストライプは独立の精神を表す。赤い三角形は、自由・平等・博愛を、白い星は輝かしい未来と独立国家を象徴している。また赤は独立闘争で流された血と犠牲を表している。
1 面積	109,884平方キロメートル(本州の約半分)
2 人口	約1,126万人(2014年 世界銀行)
3 首都	ハバナ
4 言語	スペイン語
5 宗教	宗教は原則として自由
6 豆知識	首都ハバナには海賊が横行し、堅固な要塞が築かれた。その代表的な要塞がカリブ海最強といわれたモロ要塞である。ハバナ湾入り口にあり、高さ20m、有事の際には対岸のプンタ要塞との間に鉄の鎖を渡し、敵の侵入を阻んだという。